

謹啓 時下ますますご清祥のことと拝察申し上げます
先般 ○○○○ ○○○○ 永眠に際しましては ご丁重なご弔慰ならびにご芳志を
賜り ご厚情のほど誠に有難く厚く御礼申し上げます
このほど七七日忌の法要を無事済ませました

つきましては 皆様から頂戴いたしましたご芳志は 故人の意に沿いがん克服
の研究発展の一助のため「がん研究会」に寄付させていただきました
なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます
まずは略儀ながら書中をもって謹んでご挨拶申し上げます

○○○○○年○月

見本 一番

謹 白

謹啓 このたび ○○○○ 様より御○○○ 故 ○○○○ 様の追善ご供養
のためがん研究費として多額のご寄付を賜り 有難く正に拝受致しました
ご厚意に深謝し厚く御礼申し上げます
つきましては 故人ならびにご遺族様をはじめ 皆様方のご意志を体し
がん克服のため研究・診療に今後更に一層の努力を致し ご期待にお応え申し
上げたたく存じます
拝眉の上御礼申し上げますと 書中をもちまして 御礼旁々謹んで
ご挨拶申し上げる次第であります

○○○○○年○月

謹 白

〒135-8550

東京都江東区有明三丁目六番一
電話 ○三(三五二〇)〇一〇一
公益財団法人 がん研究会

理事 浅野敏雄
研究 野田哲生
院長 佐野武

